

航空自衛隊土佐清水分屯基地整備

政策提言先 防衛省

政策提言の要旨

南海トラフ地震の発生時、県内各地が孤立のおそれがある中で、四国西南地方は特に厳しい状況となり、自衛隊などによる応急救助活動が必要不可欠となります。

このため、航空自衛隊土佐清水分屯基地を拡充し、給油施設や緊急物資備蓄倉庫も備えたヘリポート関連施設を整備することを強く提言いたします。

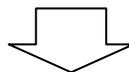
【政策提言の具体的内容】

◆土佐清水分屯基地を拡充

- ・土佐清水分屯基地の敷地を造成し、立地を活かした業務を効果的に行えるようにすることが必要

◆関連施設整備を推進

- ・ヘリ用の給油施設、緊急物資備蓄倉庫などを整備



◆災害時における迅速な応急救助活動のための拠点機能を確保

◆災害対策にあたるヘリの燃料が確保でき、空輸機動力が向上

⇒土佐清水市だけでなく、県西部の応急救助活動拠点の一つともなりえる

⇒加えて、我が国の西南地域における防衛（国民保護）態勢が充実

【政策提言の理由】

◆南海トラフ地震発生時、県内各地が孤立のおそれ

- ・県の計画では、土佐清水市までの道路啓開日数は17日と想定されており、孤立が予想される地域の中でも厳しい状況
- ・地域地域で応急救助活動や医療活動を展開する必要あり
- ・孤立地域へのアクセスにはヘリによる空路の確保が必要だが、ヘリ用の給油施設は、県西部では黒潮消防署の一カ所（H29年度整備中）のみ

◆自衛隊などによる応急救助活動が必要不可欠

- ・土佐清水市近隣での応急救助活動（救援物資輸送を含む）は、自衛隊など外部の支援が不可欠
- ・加えて、効率的な活動のためには、一定の燃料備蓄が必要